

北海道知事選挙闘争本部会議 石川ともひろ知事の実現を 渡辺たつおさんを札幌市長に

3月19日、建交労道本部の「北海道知事選挙闘争本部会議」を開いて、4月7日投票でたたかわれる北海道知事選挙で「市民と野党の統一候補」石川ともひろさんの当選をめざしてとりくみを強めることを意思統一しました。会議には道本部執行部とトラック部会・建設部会・労災職業病部会役員など13人（9支部と鉄道本部）が参加し、各支部・部会でのとりくみを交流しました。鉄道本部は竹田委員長の訴え「北海道知事選挙闘争のとりくみと北の鉄道を守るたたかいに総力をあげよう」を全組合員に送り選挙カンパも集まっています。会議では、札幌市長選挙で「市民主権を実現する会」の渡辺たつおさんの勝利のために、札幌の各支部だけでなく全道の組合員から札幌の親せき・知人・友人への「声かけ」をすすめることも確認しました。

帯広・余市・小樽で「相談会」

建退共・振動障害・アスベスト疾患など31件の相談

十勝建設支部は3月10日に帯広市内2会場で「建退共・職業病相談会」をおこない26件の相談を受けました。会場での相談は16件で、新聞折り込みのチラシ（31万枚）や無料情報紙に載った案内を見て電話してきた相談が10件でした。相談内容は、建退共の関係（手帳を捜したい・解約など）が18件で、労災関係が6件（振動障害2件・アスベスト関連2件・難聴2件）などでした。振動障害では1人の検査希望があり、アスベストの健康管理手帳を持っている人からの相談もありました。難聴は時効でした。

後志労災支部が3月16日に余市町と小樽市でおこなった「健康相談会」には5人が相談に来ました。相談内容は、振動障害1件、難聴2件、アスベスト疾患1件、ケガ1件で、振動障害の相談者には検査と受診をしてもらうことにしたほか、肺がんの相談者には主治医にアスベストとの関連を調べてもらうことをアドバイスしました。難聴の2件は時効でした。

リヴィノールシステム分会

春闘・夏季一時金要求書を提出

札幌合同支部リヴィノールシステム分会は、3月15日に2019年春闘・夏季一時金要求書を提出しました。賃上げ要求は、正職員の基本給一律40,000円増額、時給職員（準職員・パートナー職員・アルバイト・継続雇用職員）の時給一律150円増額で、一時金については、正職員の夏季一時金3.0か月分、準職員・パートナー職員の一時金を年間3.0か月分（夏季1.5か月分）、アルバイト職員・継続雇用職員の夏季一時金一律2万円を要求しています。また、数年間働いている職員の貢献度を考慮し、時間給職員の社内最賃が上がった場合には、勤続1年以上の職員には最賃に時間10円を加算することも求めています。